

賦税間第一八四號ノ三
 分蜜糖ノ製造ニ関スル件
 七月十七日付主秘第一八号ヲ以テ御照會相成候首
 題ノ件別紙ノ通ニ有之候
 右及回答候也

大藏省主税局長殿

大正十五年八月十三日
 臺灣總督府賦務局長 阿部 滂

川	深	草	式	谷		湖地民名
				平均入當	一世帯平均	
〇二	〇四八	一	一	一	一	滿未四十三
〇一	〇二	〇二	〇七	〇七	二四 三五	滿未四十四
〇六	二五	〇六	二〇	〇六	二四 三四	滿未四十五
〇六	三四	〇九	三三	〇七	三四 三四	滿未四十六
〇八	三七	〇六	二二	〇六	二四 二七	滿未四十七
〇六	三五	〇九	四一	〇七	三四 二二	滿未四十八
〇九	五一	〇八	三二	〇九	四四 一	滿未四十九
〇四	二〇	〇九	四四	〇六	二四 九	滿未四百
〇六	四三	一〇	四〇	〇七	三四 八	滿未四百一
〇六	二九	一〇	四二	一三	五四 〇	滿未四百二
一	一	一	一	一三	一四	上以四百三
〇七	三〇	〇八	三二	〇七	三四 二	計 総

問一、臺灣ノ分蜜粗糖工場中現在ノ工場組織ニテ
第一種分蜜糖ヲ製出シ得ラレサル工場名及其ノ工
場別一々年生産高

答

大正十三年二月殖産局ハ各新式製糖會社

究砂糖色相ニ関シ

(一) 結晶粒ハ現在ノ原料糖程度

(二) 水洗及蒸汽洗ハ現在ノ消費糖(黄双)製

造ニ於ケル程度ニシテ糖度九十八度以上ヲ有セシ

ムルコト

ノ條件(即チ此哇中双ヲ標準トシテ)ニヨリテ製糖

色相ニツキ調査シタルニ其ノ結果ハ別表ノ如シ

右ニ依レハ現在ノ設備ニ於テ中双製造不能ノ工場

ナシ

而シテ別表ニ記載ナキ工場ト雖モ其ノ機械装置ニ

於テ何レモ甲乙無ク他ニ不能ノ原因ナキニヨリ第

四種糖製造可能ナルヲ推定セラルヘシ

尚木製糖技術者ヲ以テ組織セル製糖研究會

ニ於テモ第四種糖製造可能ナルヲ認め居レルニ徴ス

ルモ現在台湾ノニ於ケル新式製糖場ニ於テ第四

種糖ヲ製造シ得ルコトハ首肯シ得ラルヘシ

問二

前項工場ヲ直チニ第四種分蜜糖ヲ製出シ

得ル組織ニ改ムルトセハ如何ナル装置ヲ要スルヤ

及其ノ装置ニ要スル日数並ニ經費(工場別)

答

前述ノ如ク現在ノ設備ニ於テ第四種糖ノ製

造可能ナリト雖モ尚進ニテ經濟的ニ之カ製造ヲ
 ナサントセハ現在ノ装置ニ改良ヲ施シ瓦哇式ナルニ
 段分蜜方法ヲ採ルニ至ルヘシト思惟セラル
 而シテ現在ノ工場ヲ瓦哇式ニ段分蜜装置ニ改
 造セシニハ現在ノ分蜜機ヲ三割内外増設シ之
 ニ件ヲ容器、白下、蜜、砂糖ノ輸送装置等
 ニ更更ヲ加フルヲ要スルヲ以テ半ケ年ノ日子ヲ
 要スヘク經費約千七工場當リ十萬圓内外
 ヲ要スヘシ

問三、分蜜糖ニ「カラメル」ヲ施ス爲ニ要スル失費額
 (製品百斤當)

答(イ) 工場設備費「カラメル」製造設備ハ至極簡

單ナレハ製品担當リニ計上シ難キ程其ノ費具用僅
 少ナリ

(ロ) 「カラメル」原料費、直接消費糖ノ着色用トシ
 テハ多クハ糖粉ノ砂糖ヲ使用ス而シテ一担ノ原料
 ヲ以テ百二十担分ノ着色ヲ行ヒ得ラルルニヨリ原
 料費ハ製品一担當リ八角三厘ナリ(糖粉糖一担當十円)

(ハ) 「カラメル」製造費
 燃料 0.1 角一六
 工賃 0.1 角二七
 計 0.1 角四三

燃料トシテハ甘蔗搾殻、粉殻、石炭ヲ使用シ原料
 一担當リ二十錢内外工賃三十二錢計五十二錢之ニ
 (ロ)ノ原料代ヲ加ヘテ一、四五ニトナル而シテ仕上タル
 「カラメル」ハ濃度ブリツクス四五度ノモノ一八。斤ヲ

得ヘク約一二の担分ノ着色料トシテ使用セラル之
 ラ以テ着色費ノ製成品一担當リ八兩七六ナリ
 而シテ一方着色料タル「カラメル」ハ其ノ大部分ハ
 糖蜜中ニ逸出スルモ幾分ハ砂糖結晶ノ表面
 ニ附著シ製成品トシテ販賣セラルヲ以テ假ニ製
 品ノ賣價ヲ十五円トセハ之カ爲ニ回收セラルモ
 ノ五兩二五ニシテ差引失費トシテハ製成品一担當リ
 三兩五厘ナリ
 若シ廢蜜ヲ以テ「カラメル」ヲ製造スル場合ハ
 原料費ヲ大ニ節約セラルトモ製成品ノ色相
 良好ナラス結局利益ニアラサルヲ以テ直接消費
 糖ハ殆ント糖物糖ヲ使用シツアル現状ナリ
 (二) 「カラメル」ヲ施ス爲ニ製糖能率ニ及ホス損
 失

「カラメル」製造並ニ着色操作ハ多少ノ煩ハアレトモ
 之カ爲ニ製糖能率ニ殆ント影響日ヲ及ホス処ナ
 然レトモ「カラメル」着色ヲ施ス理由ハ水洗ニヨリ脱
 色シテ色相ヲ向上セントスル目的ナルヲ以テ水洗
 ニヨル損失ヲ防止セン爲ニハ大粒ノ結晶ヲ有スル
 製成品ヲ得ルコトニシテ之カ爲ニ煎糖ニ長時間ヲ
 要シ製糖能率ニ影響日ヲ及ホスコト大ニシテ原
 料糖程度ノ結晶日ヲ煎糖スル場合ニ比シ大粒結
 晶日ヲ煎糖スル場合ハ工場能力ヲ減殺スルコト
 一割内外ニ及ヒ從テ製糖能率ニモ大ナル損失ヲ
 來ス(附録参照)
 (ホ) 其他ハ(四)(二)ノ項ニ附記セリ

現在ノ設備ヲ以テ最モ容易ニ製造セラルヘキ製
品ノ色相

別表 甲 新式工場

(大正十三年期)

同	同	東洋	大日本	同	同	同	明治	新興	臺灣	會社名
斗大	烏樹林	北港		溪湖	蒜頭	蕭壠	總爺		後壁林	工場名
三斗 中斗 五斗	二十号	二十号	十八号	二十号	二十号	二十号	二十二号	二十号	二十号	和蘭標準
九八、五	九八、二	九八、四	九八、〇	九八、六	九九、二	九九、三	九九、三	九八、八	九九、二	檢糖度
〇、一三	〇、六〇	〇、一四	〇、四六	〇、二〇	〇、三〇	〇、二三	〇、二六	〇、四八	〇、三五	水分
二、四〇	三、七五	二、一〇	一、二五	三、八七	一、五三	〇、七五	五、六〇	三、〇六	三、三〇	水(乾量) (百斤對)
	一升五合	二、一斤	九合二勺	一升八合	三合		二升二九三		(水洗量)	備考

會社名	工場名	和蘭標準	換糖度	水分	水洗量 (百斤對シ)	備考
東洋	月眉	二十号	九九・〇	〇、一〇	〇、八三	
同	鳥日	二十三号	九九、四	〇、〇九	三、〇〇	
塩水洗		十九号	九八、七	〇、三二	一、〇〇	四合
杯本源		二十号	九八、八	〇、三五	三、五〇	
新高		二十一号	九八、六	〇、三八	三、〇〇	
帝國		二十三号	九九、六	〇、〇八	一、二〇	
臺南	玉井	十七号	九八、六	二、九七	四、五〇	
新竹						
沙轆		二十号	九八、六	〇、二〇	三、〇〇	
平均		二〇、三	九八、八	〇、三七五	二、六三	

備考 大日本製糖ハ大正十五年定期調査ニ依レハ和蘭標本二十号ノ糖度九八・九〇水分〇、二一百分之對スル洗滌水三升七合ナリ
新竹及玉井製糖工場ニ於テハ第四種糖ヲ製造シ得ル旨回答アリ(大正九年)

(附註) 中双製造ト黄双製造トノ生産費ニ及ホ人影響日
黄双トハ第二種分蜜糖ニシテ特ニ大粒ノモノヲ云フ
中双トハ糖度ハ黄双ト同様ニシテ粒小、著色セサルモノヲ云フ

中双ハ粒小ニシテ而モ「キヤラメル」著色ノ要ナキヲ以テ其ノ生産費ヲ節約スルコト大ナリ即チ
一 工場ノ煎糖能力ヲ増大セシムル結果一撥ニ压榨能力ヲ増大スルコト約一割内外ニシテ此ノ爲歩留不良ナル時期ノ压榨ヲ避ケ得ヘク從テ歩留ヲ高上セシメ一担當リノ利益約十錢内外ナリ

二、 期間短縮ニヨル人件費消耗品費其ノ他雜費、
、即約二錢内外ナリ

殖民地ニ於ケル糖業一斑

一五、八、二四日

三、 期間短縮並ニ結晶粒小ナルヲ以テ燃料ヲ即
約スルコト一担當五錢内外ナリ

四、 結晶粒小ナルヲ以テ煎糖回收率大ニシテ廃蜜
中ノ損失ヲ小ナラシム此ノ利益五錢乃至十錢ナリ

五、 「キヤラメル」著色ニ要スル費用一担當リ八錢乃
至十七錢ニ至ルモ其ノ幾分ハ製品ニ附著シテ販
賣セラルルモノナレハ差引節約額ハ三錢乃至十
錢ナリ

以上ヲ綜合シテ即節約額三十錢乃至卅九錢ナリ